

学生企画活動 支援事業報告

昨年度の学生企画活動支援事業も、
無事全て終了しました。
今回は、「学生オペラ」「楽器ふれあいコンサート」
「ウインターキャンプ」に
活動報告をしてもらいます。

学生オペラ 過激!? 歌劇!! 感激!!! ~Sound(三度)味わう奈教のオペラ~

身体・表現コース4回生

田原 佳菜子



2012年3月18日(日)、奈良教育大学講堂にて、学生オペラ『フィガロの結婚』を上演しました。学生オペラは今回で13年目を迎え、学生企画活動支援事業としても8回目の公演となりました。

今回のテーマは「過激!? 歌劇!! 感激!!! ~Sound(三度)味わう奈教のオペラ~」でした。このテーマは、オペラに参加している学生、ご協力頂いた方々、会場に足を運んでくださったお客様という、学生オペラにかかわるすべての方々に、「見て、聞いて、感じる」=Sound(三度)味わうを体験して頂きたいという思いで決定しました。

本番に至るまでには、意見がぶつかったり練習が思うように進まなかったりなど、様々な困難がありました。また、練習以外にも大道具・衣装制作や広報活動など、これまで経験したことのないことに戸惑い、うまく対応することができずに失敗してしまうこともありました。しかし、そのたびに全員で話し合ったり、時には周りの方々からも助言をいただいたりして解決し、本番を迎えることができました。

そうして迎えた本番では、350人近くのお客様にお越し頂きました。私たち学生が一生懸命作り上げた舞台を、このように多くの方々にご覧頂けたことにとっても大きな喜びを感じております。また、学生オペラは、来年度も公演を行う予定ですので、ぜひお越しください!

最後になりましたが、1年間を通して様々な形で私たちを支えて下さった学生支援課の皆様、本当にありがとうございました。

楽器ふれあいコンサート ~音楽を親しんでもらおう!~

教育・発達基礎コース3回生 樋渡 友理

私たちは、生の音楽を聴いてもらうことで、音楽の楽しさを伝え、普段触れることのない楽器に直接触れてもらうことで楽器に興味を持ってもらうことを目的として、この「楽器ふれあいコンサート」を実施しました。

9月、1月、2月、3月に、依頼のあった幼稚園・保育園・福祉施設を訪問して演奏会を開きました。演奏会には、子どもたちや施設入所者はもちろん、地域の方々も来てくださいました。演奏会ではそれぞれのニーズに合わせた曲を選択し、曲間に楽器紹介をはさんだり楽器当てクイズをはさんだりして、それぞれの楽器の音や特徴を知ってもらうこともできました。幼稚園・保育園では、私たちの用意した手作りのマラカスを振ってもらい一緒に音楽を作り出すこともしました。また、演奏会後に実際に楽器に触れてもらい、子どもたちと交流をしました。

実際に活動してみて、子どもたちや入所者の楽しんでいる様子から、音楽の楽しさを伝えることができたと思います。また、手作りのマラカスを取り入れたりペープサートを組み込んだりとさまざまな工夫もあり、聞いてくれる人たちの距離が縮まったと感じることができました。聞いてくれる人たちが音楽を楽しんでいることが伝わってきたことにより、私たちも改めて音楽の楽しさを実感することができました。子ども、施設入所者、地域の方々、部員が一丸となって演奏会に参加し、楽しむことができました。これからも一人でも多くの人を笑顔にするため、このような活動を続けていきたいです。



ウインターキャンプ 障がいを持つ子どもとの成長 ~仲間といっしょに~

教育・発達基礎コース3回生 加藤 佐和子

ウインターキャンプは、障がいの有無に関係なく、参加する全員がこのキャンプを楽しみ、共に成長できる仲間をつくる機会にしていこうという目的のもと、実施しています。

今年度は、2012年2月18~19日に、昨年と同様の福井県今庄スキー場にて行いました。大寒波の影響もあり実施前には不安もありましたが、幸いなことに2日間ともに絶好の天気にも恵まれ、子どもたちと学生はもちろん、お母さん方まで参加して、全員で雪遊びを思う存分楽しんできました!

今年度はご支援のおかげでバスを2台借りることもでき、窮屈な空間を苦手とする子もリラックスして長時間の移動をできたように思います。

たった2日間の活動ではありましたが、動くことが苦手な子が積極的にソリ遊びに参加していたり、学生と共にスキーを習得したり、障がいのある子とそうでない子が、一緒にゲームをして遊ぶ姿が見られたり...と、今年度の目標通り、仲間といっしょに成長していく子どもたちの姿がたくさん見られたように思います。それを間近に感じる事ができた学生たちもまた、子どもたちや保護者の方々との関わり合いの中で、これから教育現場で生かせるであろう貴重な学びを多く得て、成長することができました。

学生実行委員としては、最終日学校で解散するとき、参加者全員が大満足といった笑顔をしてくれたことに喜びいっぱいです。これから先もこの笑顔のため、ぜひウインターキャンプを続けていきたいと考えておりますので、よろしくお祈りします。

